

中東に関する公開講座

Public Lecture on the Contemporary Middle East

千葉 悠 志

公立小松大学

1. 21世紀の国際政治と中東

2019年4月から7月にかけて、小松しみん大学の公開講座「世界の情勢を読む」（全5回）がおこなわれた。筆者は、このうち最終回の講義「激動の中東情勢を読み解く」を担当し、日本と中東地域の歴史的なつながりや中東の現代政治について話した。冷戦終結後、中東が国際政治の震源と化したことは疑い得ないだろう。湾岸戦争や、米同時多発テロ事件を期に始まったアフガニスタンとイラクでの戦争、「アラブの春」として知られる大規模な政治騒乱、そしてその延長線上に起きたシリア、イエメン、リビアでの内戦、さらにそこから生じた難民問題や過激派組織の跳梁跋扈。最近では、世界のエネルギー供給源である湾岸地域の政治的不安定化が、世界経済へと与える影響も懸念されている。こうした一連の出来事によって、日本でも中東に対する関心が、一過性のものではなく、完全に定着しつつあるように思われる。筆者が今回担当した講義にも、40名以上の市民が参加しており、熱心な受講者が多いという印象を受けた。

2. 日本と中東の結びつき

講義の冒頭では、日本と中東の歴史的な関係を概観した。正倉院の宝物にササン朝の美術品や工芸品が納められていることから分かるように、両者の結びつきは古い。しかし、関係の進展は20世紀以降のことで、そこには欧米諸国に対する共通利害が存在していた。日露戦争後、イスラーム世界の政治家や知識人たちは近代化に成功し、強国となった日本に対して関心を寄せるようになった。タタール系のウラマー（イスラーム知識人）が来日し、日本の政治家や知識人などの交流が生まれ、1930年代には神戸や東京でモスクも建てられた。日本でも、アジア主義者らがイスラーム世界へと関心を寄せた結果、この時期にはイスラームに関する学術研究が進んだ。そして、第二次世界大戦以降になると、日本と中東との関係は戦略的なものではなく経済的・文化的なものに支えられるようになった。

日本における中東への関心が再び強まるのは、1970年代以降のことである。とくに、2度の石油危機が生じたことで、中東諸国との資源外交を展開する必要性が生じたことが大きな理由であった。また、1990年代以降は湾岸戦争やイラク戦争への自衛隊派兵の問題が生じたことで、従来

の経済的関心だけでなく、安全保障上の観点からも中東が重要な地域であることが再認識されるようになった。さらに2000年代以降になると、中東は国際政治の重要な一角に組み込まれるようになったことから、この地域を適切に理解する必要性がかつてなく高まっている。

3. 今日の中東政治を読み解く視点

講義では、今日の中東政治を読み解く視点として、ここ50年ほどの中東で起きた主要な出来事を5つほど取り上げて解説をおこなった。第1に、1970年代頃から顕在化してくるイスラーム復興現象を取り上げて説明した。近代化の進展とともに衰退すると思われていた宗教が、1970年代以降に再び世界的に活性化してきたことを述べたうえで、そうした動きが単なる復古ではなく、「異なる近代」を模索するものであったことを示した。第2に、1979年に起きたイラン・イスラーム革命を取り上げて説明した。この革命を機に、それまで世俗主義国家であったイランがイスラームを国家の基本原理に据えるようになったことを述べたうえで、その政治社会的な影響や、政治的イスラームの問題について論じた。第3に、1990/91年の湾岸危機／戦争を取り上げて解説をおこなうとともに、この事件をきっかけに日本では自衛隊派兵問題が盛んに議論されるようになったことを述べた。第4に、2001年のアメリカ同時多発テロを取り上げて、実行グループとされるアルカーイダの思想的・政治的背景を説明するとともに、この出来事をきっかけに生じたアフガニスタンとイラクでの戦争とその帰結を論じた。第5に、2010年末から始まる「アラブの春」として知られる大規模な政治騒乱を取り上げて、この出来事背景や、その延長戦上に起きたシリア、イエメン、リビアでの内戦、さらにはISに象徴される過激派組織の台頭の背景などを解説した。

4. おわりに

今回の講義は、市民の国際情勢や中東に寄せる関心の高さ、さらに本学に対する市民の期待の大きさを知ることができる貴重な機会であった。小松市では、2017年以降、市のウェブサイトにもイスラーム教徒向けの飲食店やサービスを掲載するなど、「ムスリムフレンドリー都市」の取り組みをおこなっている。したがって、今後需要があれば市民講座などで中東・イスラーム世界に関する情報発信を積極的におこなっていききたい。

本稿は、2019年4月13日から7月20日までに行われた全5回分の公開講座「世界の情勢を読む講座」のうち、7月20日の第5回講演「激動の中東情勢を読み解く」を、講演者の手によりまとめたものである。